

西日本豪雨災害活動報告 (2018年8月～10月)

7月初旬に発生した西日本豪雨災害から4ヶ月が経過しました。日本災害救援ボランティアネットワークでは、皆さまからお寄せいただいた多大なるご支援、ご寄付のもと、岡山県倉敷市を中心とする被災地支援活動を引き続き行っています。

8月～10月の活動としましては、西宮市社会福祉協議会と共同で、ボランティアバスを3回真備町に向けて出した他、あわせて9回現地での活動を行いました。8月に運行したボランティアバス第2、3、4弾の計3回では、スタッフを含め100名以上が被災地での活動を行いました。

倉敷市の建設型仮設住宅は、プレハブの他、木造とトレーラーハウスタイプを含めた全266戸が9月中旬に完成し、避難所等で生活していた被災者の方々が仮設住宅での生活を始めておられます。我々の活動も、被災家屋の片付けや廃棄物の運搬作業等のお手伝いから、仮設住宅入居者の支援活動等へと内容が変化していく時期を迎えています。

⇒⇒⇒ 活動の詳細につきましては、ホームページのブログをご覧ください。

[NVNAD](#) 検索



- c o n t e n t s -

- P1・・・ 西日本豪雨災害活動報告
- P2・・・ 西日本豪雨で浸水した写真4,000枚を修復するボランティア活動の報告
- P3・・・ Vision 117 / 大阪大学オムニサイト協定調印式
- P4・・・ 野田村交流事業 / 復興支援チャリティコンサート
- P5・・・ 野田村ファンクラブ / 災害ボランティア養成講座 / 防災授業
- P6・・・ 防災チャレンジキャンプ / 子ども防災クラブ / 高木秋まつり
- P7・・・ Nうごき / Nごよみ
- P8・・・ 会員・寄付者・募金者のみなさま / カレンダー市のお知らせ / 編集後記

西日本豪雨で浸水した 写真4,000枚を修復するボランティア活動の報告

NVNAD監事 萩野茂樹



●西日本豪雨災害で被災したご家族から写真を預かる

私は、日本災害救援ボランティアネットワークのメンバーや大阪大学の教授や学生とともに平成30年7月14日(土)～16日(月)に、第1回の支援活動に入った。その時、2階の畳まで泥水が浸水したというHさん一家のお宅から浸水し泥で汚れた写真アルバムを預かってきた。量はダンボール5箱分(約4,000枚)。

お子さんの誕生や成長の記録の写真も多く含まれ、失うと二度と戻らない家族の宝であった。当初、持ち帰った分を自宅で乾かしていたが、自身が副会長を務める三重県津



市の『津地区ボランティア連絡会』の役員仲間が手伝ってくれるという話になり、広い会場で多くのボランティアを集め一気に作業しようという事になった。しかし、今回持ち帰った写真は浸水によりアルバムの紙部分がポロポロで、触ると崩れる程。慎重にページをバラし、ハサミでフィルムごと切り分け、張り付いたフィルムを丁寧に剥がし、新聞紙上に並べる。この作業には広い場所が必要なので、津市中央公民館で一番広いホールをお借りし作業した。写真を平面的に重ねると、写真が水で溶けた部分が写真の裏にくっつくので全て立てて保存する。乾燥行程が終わると、次に写真の周囲の乳剤を拭き取る作業に移る。この溶けた乳剤の乾燥にはかなりの日数がかかる。



●計5日間の修復作業 【第1回】7月21日(土)、22日(日)、【第2回】8月4日(土)、5日(日)、【第3回】9月1日(土)の計5日間開催した。主催は、津地区ボランティア連絡会と日本災害救援ボランティアネットワーク。支援を呼びかけた皆さんは、津地区ボランティア連絡会の加盟サークルの他、津市社会福祉協議会の職員のボランティア参加、津市役所では津市防災室の職員が発信して職員メールにより全職員への呼びかけ、その他SNSによる情報発信などに応えて延べ約120人の方に作業に携わっていただいた。この作業は、『被災地に行かなくても、年齢・体力に関係なくだれでもできる支援』ということで多くの反響があり、また朝日新聞の社会面その他2紙で紹介されたこともあり、遠く名古屋市や西宮市からの参加もあった。また、「被災地での体力が必要な活動はできないが、これならお手伝いできる」とのことで、高齢の方も含め多くの方にご参加いただいた。修復した写真は約4,000枚に上る。



●修復した写真をお渡しに真備町を訪問

10月7日に、修復した4,000枚の写真を持参して倉敷市真備町のHさんファミリーを訪問。津地区ボランティア協議会の役員として副会長萩野茂樹と、会計の奈良かよ子。津社協から職員一人、そして、密着取材ということで中日新聞の女性記者が同行し、Hファミリーに修復した写真を返却した。Hファミリーのお父さんと3人の子どもさん大変喜ばれた。この写真は、まさに家族の宝。ほとんどの家具、電気製品、家財を失った家族にとって、ようやく戻ってきた写真。写真を渡した時の娘さんの笑顔は、私達にとっては最高の宝となった。

Vision 117

中越地震から14年。今年も小千谷市塩谷集落を訪れました。あの地震で3人の児童が亡くなった集落には、慰霊碑が建てられています。あの日と同じく満月が綺麗な夜、黙祷の時間まで、「あの日はもっと寒かった」「どうしても助けられなかった…」、「あの日小千谷まで駆け下りて救援を求めた」「深夜に自衛隊が来てね」「牛や鯉がどうなるかと思うと救援ヘリに乗るのが不安だった」・・・と口々にあの日を思い出しながらしみみりと語る集落の人々。その間に交じって、当時救援活動に取り組んだボランティアの姿がありました。復興交流を続けてきた学生さんもたくさん集まりました。また、塩谷の人達が交流してきた東北の街からは、大きな花束が贈られて慰霊碑の前に飾られていました。17時56分。1分間の黙祷

が始まります。私も黙祷しながら、あの日からの時間をかみしめました。終了後は、集落センターで新米のおにぎりを頂きながら交流。いつもは大いに盛り上がる交流会ですが、この日だけは、やはり部屋のあちらこちらでしみみりとした語りが続きました。

塩谷集落では、塩谷分校という有志の会が活動を続けています。復興への力をつけようと、雪のある間は座学で学び、雪が溶けると、今度は集落の方々が先生となって田植えや、畑作り、そして郷土料理などを私たちに教えてくださいます。その活動を一緒に始めて今秋で10年になります。11月3日は、その記念行事。分校の卒業生（これまで塩谷集落で交流してきた人々）が集まって懐かしい話に花が咲くことでしょう。次回は、あの日からの復興の営みをじっくりと振り返る時間を過ごして塩谷を訪れます。

(理事長 渥美公秀)

大阪大学オムニサイト協定調印式

8月2日、大阪大大学院人間科学研究科と災害救援や復興支援、地域防災に携わる国内外の3団体(新安世紀教育安全科技研究院(中国四川省)、北いわて未来ラボ(岩手)、日本災害救援ボランティアネットワーク(兵庫))との間で「大阪大学オムニサイト(OOS)」の協定を締結し、記念シンポジウムが開催されました。これまでも大阪大学と3団体はそれぞれ活動を共にしてきましたが、



今後は大阪大学と連携した活動を公式な形で展開することになります。それぞれが培ってきている災害救援や復興支援、地域防災などの知恵や情報をさらに共有し、社会に役に立つ具体的な活動につなげていければと思います。NVNADとしては、災害救援だけではなく、日頃の防災の取り組みなどにも人間科学部・大学院人間科学研究科の学生の皆さんに、積極的に関わっていただけることを期待したいと思います。共に「地域に生き世界に伸びる」を実践していきましょう。最後になりましたが、この協定の締結にご尽力を賜りました大阪大学の川端先生、志水先生、および庶務の皆様にご心よりお礼申し上げます。

野田村交流事業

今年も8月の野田祭りに西宮の中学生たちと一緒に行ってきま^{なかび}した。初日と最終日は新山地区の子どもみこしを担ぐ手伝いをし、中日は祭り会場近くで子どもたちの遊び場「プレーパーク」を実施します。担ぎ手が少ないからと25年度から毎年手伝っていますが、地区の法被を着て水をかけられながら回し、重たいながらも中学生たちは楽しそうでした。



学校でチラシが配られるプレーパークには小学生や幼児親子が遊びに来ます。今年は野田村唯一の児童デイサービス「ピーターズキッズ」のハンディのある子どもたちも来て楽しそうに遊んでいました。同施設を8月26日の午前中に訪問し、庭の遊具を使って出前プレーパークをしました。施設ができて5年経ちますが、周りの地区の人たちとつながりがないとのことで「誰でも遊びに来て」と企画しました。祭りの最中なので沢山の子どもたちが来たわけではありませんが、遊びに来た地区の保護者と話して地区の子ども会とつながったと、終了後職員さんが話してくださいました。その他野田中学校生徒宅でのホームステイや、村の保護者企画の交流会など、今年も暖かい交流ができました。参加した西宮の中学生は「野田村の子どもたちと思いっきり遊べて楽しかった。自分たちが少しでも役立っていたらうれしい」とのことでした。(NVNAD 理事 米山清美)

復興支援 チャリティー コンサート



西宮市立中学校吹奏楽部の顧問の先生から「生徒たちが自分たちの演奏を通して被災地の支援をしたいと言っている」と声を掛けられました。その先生は前任校でも南三陸でのチャリティーコンサートをし、私は2度とも同行しました。その時に感じた「人の心に届く音楽の力」を知っていたので、



NVNADで初めてのチャリティーコンサートを実施することになりました。西日本豪雨と北海道胆振東部地震の支援をすることとし、その具体的な支援先を探しました。前者は岡山県矢掛町立中川保育園に、後者は北海道安平町立早来中学校に決まりました。どちらも災害で多大なダメージを受け、西宮市民と何らかのつながりがありました。8月初めに矢掛町を訪れたときに、このコンサートのことを話すと役場職員が「ぜひ町が後援をしたい」ということでチラシにも載せることになりました。

前述の2つの被災地の子どもたちのために行ったコンサートは、前半を被災地の子ども支援報告とし、ボランティアに出向いた中高生が自分たちのことばで、それぞれの支援報告をしました。中学生の吹奏楽演奏とともに若者たちの思いが溢れる、未来につなぐ催しとなったと思います。来年また第2弾を実施する予定です。(NVNAD 理事 米山清美)

野田村ファンクラブ

9月29日(日)、明石市立生涯学習センターの調理室をお借りして「野田村ファンクラブ」主催の交流会を開催しました。岩手県野田村から食材を取り寄せ、また、明石名物のタコなども材料に加えて、全員で料理づくりを行いました。考えた料理メニューは、野田村産のシイタケやなすびを使った天ぷら、ホウレンソウを使った白あえ、そして、明石タコと兵庫県産のお米でタコ飯、野田村産のりんごとラズベリーを使ったデザートなどです。まず明石タコや調味料は近くのスーパーに買出しに行き、参加者がそれぞれ手分けして調理に取り掛かりました。約90分間で料理は完成し、全員でいただきました。味は最高に美味しく、野田村ともスカイプでつなぎ、楽しく交流のひとつを過ごしました。これからも関西にいながらも野田村のことをテーマに活動を継続していければと思っています。今回食材の手配をしてくださった野田村の下向様、ご協力ありがとうございました。



災害ボランティア養成講座

9月13日(木)と14日(金)の2日間、関西学院大学上ヶ原キャンパスにて、西宮市社会福祉協議会と共催で「災害ボランティア養成講座」を開催しました。受講生は関西学院大学と神戸女学院の学生さんです。西宮市役所防災総務課のスタッフや関西学院大学社会学部の関先生にも講師をお願いし、西宮市における災害想定や防災対策について学んだり、防災クイズやクロスロードなど実習を通じて、災害ボランティアについて色々と具体的に学んでいただきました。今回の受講生には、日頃からの活動にも積極的に関わっていただく予定です。

防災授業

前山小学校

9月11日(火)、兵庫県丹波市にある前山小学校にて全校生を対象にした防災授業が開催され、今年も大阪大学災害ボランティアサークルすずらの学生リーダーと一緒に行ってきました。1コマ45分という短い時間ではありましたが、昨年同様1・2年生には「ぼうさいダック」、3・4年生には「防災クイズ」、そして5・6年生には「クロスロード」を実施させていただきました。今年で3年目ですが、毎年前山小学校の子どもたちと一緒にプログラムが行えることをとてもうれしく思います。今回もお世話になりました。校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、前山オアシスの北村さま、高見さま、色々ありがとうございました。



防災チャレンジキャンプ

8月8日(水)に子ども防災クラブのキャンプ交流会を行いました。昨年までは、2009年に水害被害にあった佐用町のキャンプ場に1泊2日で行っていましたが、今年は、事務所から車で15分ほどの



場所にある甲山キャンプ場でデイキャンプを行いました。初めての場所で勝手が分からず戸惑った部分もありましたが、グループ対抗のカレーづくり、防災クイズ、川遊びなどを満喫し、自然に囲まれたのびのびできる場所で子ども達も学生リーダーも我々スタッフもリフレッシュできた1日でした。



協力することや思いやりの大切さなど、多くのことを学んでくれたことと思います。ご協力くださった学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。

子ども防災クラブ



10月13日(土)高木小学校で「子ども防災クラブ」第3回目の活動を行いました。今回は、都市農園プロジェクトの畑で育った『さつま

いもの収穫体験』です。軍手に長靴、準備バッチリの子供達は、大きなお芋が掘れる度に歓声を上げていました。秋の畑にはバツヤやカエルを始め色々な種類の生き物がいます。芋ほりだけでなく、学校に戻ってから「発見の発表」や「サツマイモクイズ」、そして「畑と防災」について話しをしました。実りの収穫とともに知識も増えたことと思います。畑を貸して下さっているT様、運営してくださっている高木地区の畑チームの皆様、大学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。



高木秋まつり



10月7日(日)西宮市の高木公園にて恒例の高木秋まつりが開催され、当団体も参加させていただきました。小さいお子さんも楽しめる『魚釣り』ですが、今年は(株)フェリシモさんから提供いただいたマグカップを豪華景品として出したところ、高得点を目指す子ども達に大人気のコーナーとなりました。リベンジを試みる4~6年生が繰り返し列に並び、例年になく売り上げを記録しました。もちろん、メインターゲットである小さいお子さんも一生懸命に竿を動かして楽しんでくれました。盛況に終わることができ、フェリシモさんに感謝の気持ちでいっぱいです。また皆さんに楽しんでいただけるよう、竿の補修に取り組みたいと思います。



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- | | | |
|-----|--|--------------------------|
| 8月 | 2日 | 大阪大学・中国との協定調印式 |
| | 3日 | ボランティアバス第二弾（岡山県真備町） |
| | 4日 | 防災研究会（兵庫県上郡町） |
| | 8日 | 防災チャレンジキャンプ（西宮市） |
| | 9日 | ボランティアバス第三弾（岡山県真備町） |
| | 17日 | ニュースVol.116発行 |
| | 17～19日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 24～26日 | 西宮子どもたち交流ツアー（岩手県）野田村交流事業 |
| | 25～26日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 29日 | ボランティアバス第四弾（岡山県真備町） |
| 9月 | 6～7日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 8日 | 防災講演会（兵庫県丹波市） |
| | 11日 | 防災授業（兵庫県丹波市） |
| | 13～14日 | 災害ボランティア養成講座（西宮市） |
| | 15～16日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 16日 | 防災講演会（千葉県松戸市） |
| | 21～22日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 23日 | 防災講演会（大阪府堺市） |
| | 27日 | NVNAD通常理事会（西宮市） |
| | 28日 | 防災講演会（西宮市） |
| 29日 | 野田村ファンクラブのつどい（兵庫県明石市）
ボランティア入門講座（西宮市） | |
| 10月 | 7日 | 高木秋まつり（西宮市） |
| | 7～8日 | 西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町） |
| | 13日 | 第3回子ども防災クラブ（西宮市） |
| | 21日 | 復興支援チャリティーコンサート（西宮市） |
| | 27日 | 防災講演会（大阪市） |



Nごよみ

11月～1月の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|-----|--------|---|
| 11月 | 3日 | よどがわ防災まつり（大阪府枚方市） |
| | 6日 | 防災講演会（奈良県橿原市） |
| | 17日 | 防災フィールドワーク（西宮市）
ニュースVol.117発行 |
| | 18日 | 防災ふれあいウォーク（西宮市） |
| 12月 | 2日 | 宮っ子ウォーキング（西宮市） |
| | 10日 | 第15回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール審査会（東京都） |
| 1月 | 11～13日 | 第23回チャリティーカレンダー市（西宮市） |
| | 17日 | 1.17行事（西宮市） |
| | 26日 | 第15回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式（東京都） |
| | 27日 | 第4回子ども防災クラブ（西宮市）
イザ！美かえる大キャラバン！2019（神戸市） |



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■会員のみなさま（2018年8月1日～10月31日）

個人正会員：「新規」道田公作、萩原美紀

：「継続」米山大吾

個人賛助会員：「新規」大槻安樹子、

：「継続」竹下養子、堂野喜美子、武田育子、葉田野玲

■寄付者のみなさま（2018年8月1日～10月31日）

西澤裕美、山口恵子、戸口京子、葉田野玲、村上玲子、木下和寛、阪田宏、フルツカ

ふあんきい☆かんぱに一、近畿労金NPO寄附システム契約者の皆様

コナモン大会にご来場の皆様、ソフトバンクかざして募金の皆様

■募金者のみなさま（2018年8月1日～10月31日）

「東日本大震災」 グッドスナカヤマヨシ

「西日本豪雨災害」 NPO法人ハートネットふくしま、認定NPO法人宝塚NPOセンター

神田久義、西澤裕美、サクラミチヨ、タナカトシアキ、山口恵子

アカフジジュンコ、水田基幸、星野典子、掛水須美枝、齊藤泰郎、星野紗代

鶴田美紀代、忽那須美男、今井曜子、魚島侑子、田中和子、タモリミチコ

アカフジジュンコ、ナカガワアキノリ、高木秋祭りにご来場の皆様

復興支援チャリティーコンサートにご来場の皆様

「北海道胆振東部地震」山田明子、河村信治、梶昌代、フルツカ

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂、株式会社フェリシモ

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい

2019年 恒例のチャリティーカレンダー市開催のお知らせ

開催日 2019年1月11日(金)・12日(土)・13日(日)の3日間
10:00～18:00 (最終日の13日は14:00まで)

会場 西宮市役所東館8階大ホール

その他詳細につきましては、決定次第ホームページやブログなどでお知らせします。

「カレンダー市の趣旨」

皆様から頂いたカレンダーを販売する好評のチャリティーバザーです。

売上金は、国内外の災害（東日本大災害、西日本豪雨災害、ほか今後の災害）に対する支援活動の直接費・間接費の費用として使用させていただきます。

編集後記

NPO法が施行されて今年の12月1日で20周年を迎えます。NPO法人の数も全国では約53,000法人が設立されています。NPO法人をとりまく環境はまだ十分とはいえないかと思いますが、これからも地域の課題解決や豊かな地域づくりのために、少しでも地域のお役に立てるように私どもの団体も頑張っていきたいと思っています。(H.T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀